

SUPER-FJ Race report



2021 もてぎチャンピオンカップレース S-FJ もてぎ・菅生シリーズ 第1戦 2021年 3月 7日 天候:晴れ 参加12台



今年からスーパーFJのもてぎシリーズと菅生シリーズが統合されて、もてぎ・菅生シリーズとして新たなスタートが切られることとなった。全6戦での開催が予定され、それぞれ3戦ずつ舞台となる。その最初のレースが、3月7日に「もてぎチャンピオンカップレース第1戦」として開催された。

もちろん統合に対して遠征の負担増を訴える者もいたが、概ね好意見のよう。「ふたつのサーキットで、より多くのことが学べるようになる」、「これで不成立を心配することがなくなる」、「筑波のガレージは首都圏をまたがなくて済むので、むしろ富士との統合よりありがたい」といった具合に。

エントリーは12台ながら、ルーキードライバーやホームコースを改めたドライバーも多く、その顔ぶれは実にフレッシュ。誰が主役の座を射止めるのか、大いに注目された。

《公式予選》

さて、予選は 9 時 10 分から 20 分間の計測とされ、当初は天気予報で路面も凍てつくような厳しい寒さを伝えられていたものの、実際には穏やかなコンディションとなっていた。最初にタイミングモニターのいちばん上に名を記したのは、20 歳の S-FJ ルーキー四倉悠聖選手。次の周には宇高希選手がトップに立つも、計測 3 周目には四倉選手が再びトップに浮上、2 分 5 秒台にも突入する。四倉選手はそのままトップをキープしながら、タイムを短縮し続けていったが 2 分 5 秒 003 がベストで、2 分 4 秒台突入には及ばず。

それでも四倉選手のポールポジションで決まりか……と思われたラストラップで、2 番手につけていた佐藤樹選手が、2 分 5 秒 011 から 4 秒 977 にタイムアップ。土壇場でポールポジションを獲得した。18 歳の佐藤選手もまた今回がデビューレースとあって、ルーキーふたりがフロントローに並ぶこととなった。

3 番手は、これまで鈴鹿シリーズを主戦場としていた宇高選手で、ベストタイムの 2 分 5 秒 135 こそ走路外走行により採用されなかったものの、セカンドベストタイムの 5 秒 239 でポジションをキープ。4 番手には筑波シリーズから舞台を移した、内藤大輝選手が 2 分 6 秒 008 で続いた。

ポールポジション:佐藤樹選手(群馬トヨペット Team RinoA ED)

「ちょっと遅いクルマが前にいて、若干心配だったんですけど、最後うまくまとめられました。序盤は全然タイヤが温まらなくてタイムが出なかったんですが、最後にタイムが上がっていったので良かったです。FJ は今回が初めてで、今まではカートをやっていました。鈴鹿や瑞浪のシニア MAX ってクラスを。決勝は、スタートを決めて逃げ切れるように頑張ります！」



予選 2 番手:四倉悠聖選手(ZAP 日本平中自動車 10V ED)

「後半にだんだん上げていけて良かったんですが、自分のミスで『行けたな』というところでベストを逃してしまったので、残念なところです。ちょっとまとめきれていなかったというか、セクター3のヘアピンとか V 字の、ちょっときつめのカーブのところであまり向きを変えていけなかったのが、決勝はそこを意識してペース落と



さないようにしていければ、と思っています。今回が初 FJ で、今までは北海道の方で VITA に出たんですけど、レース経験としてはこれが3回目。なので、まだまだバトルの展開とかは完璧ではないんですが、前だけ見て頑張ろうと思います」

予選 3 番手:宇高希選手 (TAKE FIRST 10V)

「単純にスポットで出させてもらいました。シリーズを追うとかじゃなくて、4 月から就職するので、最後のもてぎでのレースを頑張ります。かなり攻めて走っていたんですけど、途中、5コーナーでオーバーランしてしまったので、ちょっといったんペース崩れちゃったかなと。最終ラップもタイム出せそうだったんですけど、S 字の入口で



前のクルマに引っかかっちゃって、それでタイム更新できなかったのが痛かったです。前のふたりとは反対で、レースはめっちゃしてきたので、そこは経験の差を見せられたら、と思っています」

《決勝レース》



青空の下、決勝レースは 10 周で争われた。12 時 15 分に切られたスタートでは、ポールシッターの佐藤選手より、シグナル消灯の反応には優れた四倉選手であったが、直後のシフトミスで失速。その脇を宇高選手と内藤選手がすり抜けていく。ホールショットを決めた佐

藤選手ではあったが、後続はそのまま逃げていくことを許さず。特に宇高選手は早めの勝負に討って出て、5コーナーでトップに浮上する。

佐藤選手も負けてはならず、ダウンヒルストレートで並走の後、90度コーナーで再逆転も、まだ並び続けた宇高選手は、最終のビクトリーコーナーでトップを奪い返す。なおも並走が続いたものの、3コーナーでようやく宇高選手が前に出ることとなった。

一方、オープニングラップを終えた時点で、内藤選手に対して1秒3差での4番手につけていた四倉選手ながら、ダウンヒルストレートで一気に逆転。今度は佐藤選手にも迫っていく。ルーキー同士の2番手争いが激しくなったのは、トップの宇高選手にとっては好都合。4周目からコーナーの随所で佐藤選手と四倉選手は、何度もポジションを入れ替え合う中、じわりじわりと差を広げていく。

そして、リードも3秒にまで広がった6周目からは、宇高選手が何か「境地」に達したのは間違いない。2周連続のファステストラップ樹立で、よりリードを広げていったからだ。さすがに最終ラップこそアクセルを緩めたものの、最後は5秒差でフィニッシュ。悲願の初優勝を飾るとともに、ルーキーたちのデビューウィンも阻むこととなった。

そして2番手争いの決着は、8周目の1コーナーで。ここで前に出た佐藤選手が、背後に四倉選手を最後まで着けたまま、辛くも逃げ切ることに成功した。

一方、序盤に4番手を走行したのは内藤選手ながら、4周目のビクトリーコーナーで痛恨のスピンが。昨年の菅生シリーズで2位の長谷部一真選手が順位を上げるも、伊藤慎之典選手が食らいついて離れず。そして伊藤選手が8周目に逆転。やはりルーキーが、前からは大きく離されたとはいえ健闘を見せていた。そして長谷部選手に続く、6位は内藤選手が獲得。

第2戦はSUGOで、4月17～18日に開催される。舞台が違えば、またレース展開も違ってくることだろう。ルーキーによる初優勝も期待できそうだ。

優勝:宇高希選手(TAKE FIRST 10V)

「長かったです、ここまで来るのに。3年かかりました、嬉しいです！ 前半は大変な、厳



しいレースだったんですけど、後半は落ち着いて走れたので、良かったと思います。最後は余裕もあって何か、何とも言えない不思議な感覚の中の走行でもありました。この後はオートポリスの、月末のレースにも出る予定です。そこでも頑張ります」

2位:佐藤樹選手(群馬トヨペット Team RinoA ED)

「いや～、ちょっと序盤が残念でした。みんなで同時に走る時に、自分の走りができていなかったんで、そこは改善していかないといけないですね」

3位:四倉悠聖選手(ZAP 日本平中自動車 10V ED)

「スタート直後にシフトミスして、いきなり落ちちゃって……。ちょっと悔しいですけど、これも実力だと思います。ちょっと経験の差も出ちゃいましたけど、これでまた成長もできると思うので、頑張りたいと思います。まだフル参戦できるか分からないんですが、何とかこの後も出られるよう、努力します」



2021 MOTEGI Champion Cup Race



TWIN RING MOTEGI

Road Course(4,801m)

S-FJ 公式予選

2021 / 3 / 7 :

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap	Lap	CarName
1	81	-	1	佐藤 樹	KK-S II	2'04.977		10 / 10	群馬トヨペット Team RiNoAED
2	13	-	2	四倉 悠聖	RD10V	2'05.003	0.026 0.026	8 / 10	ZAP日本平中自動車10VED
3	33	-	3	宇高 希	RD10V	2'05.239	0.262 0.236	10 / 10	TAKE FIRST 10V
4	22	-	4	内藤 大輝	KKS-2	2'06.008	1.031 0.769	8 / 9	RCIT RaiseUP ED
5	10	-	5	伊藤 慎之典	RD10V	2'06.374	1.397 0.366	6 / 10	ZAP ちゃり走 10V ED
6	15	-	6	齊藤 慈岳	KK-52	2'07.077	2.100 0.703	9 / 10	FER ISIT KK-S2
7	72	-	7	木村 龍祐	KKS2	2'07.226	2.249 0.149	7 / 7	ELEVレーシングトリームKKS-2制動屋
8	36	-	8	長谷部 一真	RD10V	2'07.336	2.359 0.110	7 / 9	ALBIREXRD10V
9	17	-	9	平 裕介	S-FJ	2'07.352	2.375 0.016	10 / 10	ZAPSPEED_10V_ED
10	7	G	1	安藤 弘人	RD10V	2'08.138	3.161 0.786	8 / 10	ZAPSPEED10VED
11	35	-	10	大川 烈弥	KK-S	2'10.555	5.578 2.417	7 / 9	アルビオンKKSGIAED
12	55	G	2	伊勢屋 貴史	RD10V	2'13.016	8.039 2.461	7 / 9	アルビ☆あやし眼科☆RD10V

***** 以上予選通過 (2'42.594 - 130%) *****



TWIN RING MOTEGI

Road Course(4,801m)

S-FJ 決勝

2021 / 3 / 7 :

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best	B/L	CarName
1	33	-	1	宇高 希	RD10V	10	21'07.378		2'05.089	7 / 10	TAKE FIRST 10V
2	81	-	2	佐藤 樹	KK-S II	10	21'12.505	5.127	2'05.794	9 / 10	群馬トヨペット Team RiNoAED
3	13	-	3	四倉 悠聖	RD10V	10	21'12.793	5.415 0.287	2'05.583	3 / 10	ZAP日本平中自動車10VED
4	10	-	4	伊藤 慎之典	RD10V	10	21'22.135	14.757 9.342	2'05.888	7 / 10	ZAP ちゃり走 10V ED
5	36	-	5	長谷部 一真	RD10V	10	21'23.969	16.591 1.833	2'06.430	7 / 10	ALBIREXRD10V
6	22	-	6	内藤 大輝	KKS-2	10	21'27.579	20.201 3.610	2'06.507	7 / 10	RCIT RaiseUP ED
7	15	-	7	齊藤 慈岳	KK-52	10	21'34.422	27.043 6.842	2'07.543	6 / 10	FER ISIT KK-S2
8	7	G	1	安藤 弘人	RD10V	10	21'34.663	27.284 0.241	2'07.401	8 / 10	ZAPSPEED10VED
9	17	-	8	平 裕介	S-FJ	10	21'35.530	28.151 0.867	2'07.402	9 / 10	ZAPSPEED_10V_ED
10	72	-	9	木村 龍祐	KKS2	10	21'41.659	34.280 6.128	2'06.858	6 / 10	ELEVレーシングトリームKKS-2制動屋
11	35	-	10	大川 烈弥	KK-S	10	21'52.836	45.458 11.177	2'08.858	7 / 10	アルビオンKKSGIAED
12	55	G	2	伊勢屋 貴史	RD10V	10	22'59.569	1'52.191 1'06.733	2'14.710	7 / 10	アルビ☆あやし眼科☆RD10V

***** 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *****



FJ ASSOCIATION

